

ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)
愛称：USドリーム(毎月)／(年2回)
足元の投資環境と今後の見通し

本レポートでは、当ファンドの主要投資対象ファンドの運用を行うピーター・ヴァンダーリー氏に、足元の投資環境や運用のポイント、今後の見通しなどについてお伺いしたので、その内容をご紹介します。

日本の投資家の皆さまへメッセージ

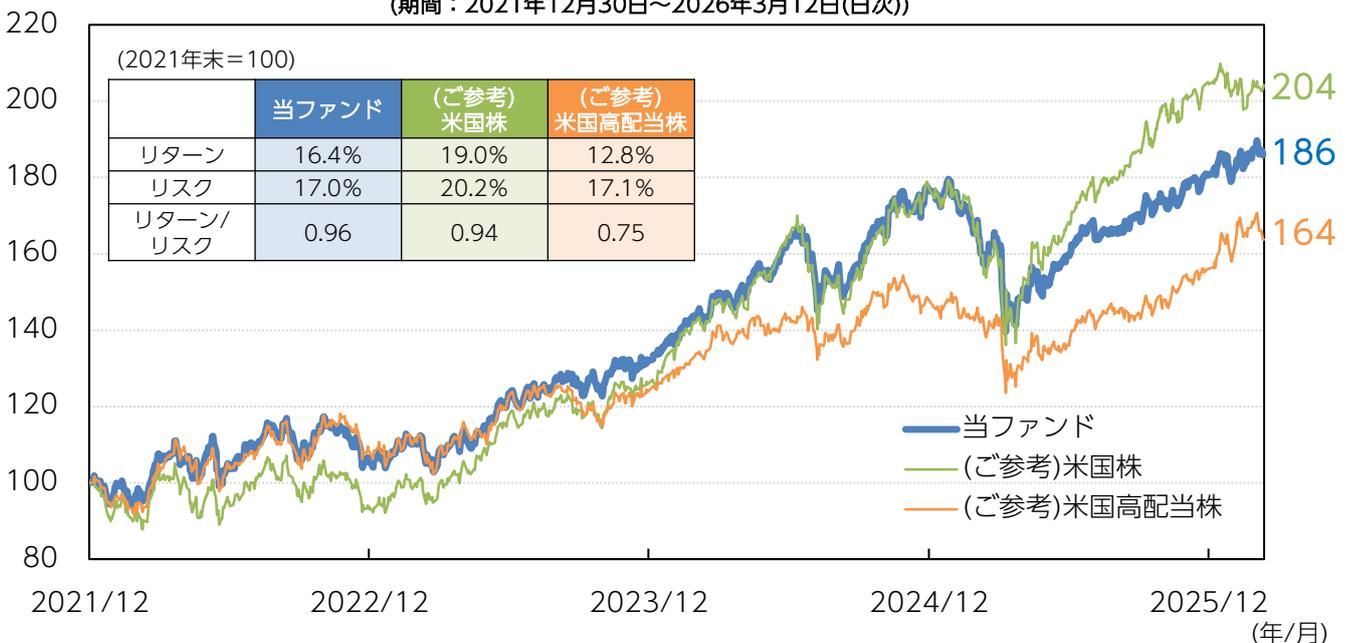
足元では、米国・イスラエルとイランの対立を背景に中東情勢が緊迫し、市場の不確実性が高まっています。本レポートでは、こうした地政学リスクやAIを巡る投資環境の変化を踏まえ、当ファンドがこれまで進めてきた運用戦略と、現在注目している投資テーマについてご報告します。

当ファンドは、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資を行いつつも、伝統的高配当株の枠を超えた投資機会を追求しており、これからも投資家の皆さまのご期待に応えることができるよう努めてまいります。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。



Peter Vanderlee, CFA
ピーター・ヴァンダーリー
 クリアブリッジ・インベストメンツ
 ポートフォリオ・マネジャー

当ファンド(年2回決算型)のパフォーマンスの推移
 (期間：2021年12月30日～2026年3月12日(日次))



上記グラフは、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。基準価額は信託報酬控除後のものです。信託報酬率は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。米国株はS&P500指数、米国高配当株はS&P500配当貴族指数(それぞれ税引き後配当込み、円換算)を使用しています。各指数は当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。リスクとリターンは日次騰落率を基に算出した年率換算値。年2回決算型は設定来分配金をお支払いしていません。

中東情勢の緊迫化とポートフォリオへの影響について

◆情勢悪化前から段階的なポートフォリオ見直しを実施

足元では、米国・イスラエルとイランの対立を背景に、中東情勢が緊迫しています。情勢は流動的であり、今後の展開を正確に予測することは困難です。ただし当ファンドでは、**数カ月前から原油供給の混乱リスクを含む中東地域の不安定化について継続的に議論し、ポートフォリオの見直しを進めてきました。**



今回の地政学的緊張は、短期的には**防衛関連やエネルギー関連の株価にプラスに働く可能性**があります。当ファンドでは、こうした長期的な構造変化を見据え、すでに以下のような対応を行ってきました。

① 防衛関連銘柄の組み入れ強化

2026年以降、ロッキード・マーチン、L3ハリス、ノースロップ・グラマンなどの防衛関連銘柄の投資比率を高めました。世界的に安全保障への関心が高まっており、防衛費は中長期で増加する可能性が高いと考えています。

② エネルギー輸送インフラ分野の拡充

2025年11月から2026年2月にかけて、AIやデータセンターの増設による電力需要の増加等を背景に、パイプラインやエネルギー輸送を担う企業への投資を拡大しました。

◆当面は短期変動への過度な反応を避ける

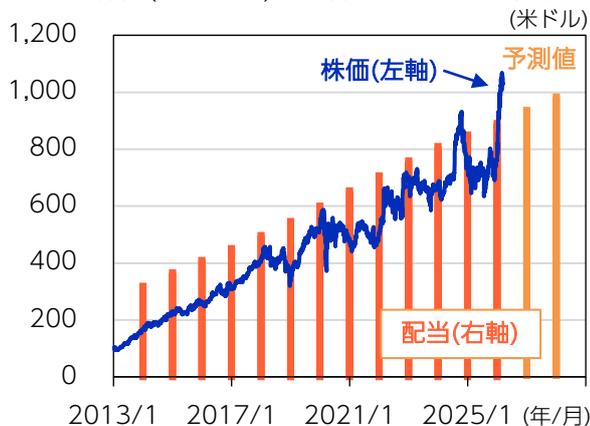
イラン情勢の先行きは不透明で、紛争の長期化や拡大の可能性も否定できません。そのため当ファンドは、**短期的な値動きに過度に反応することは適切ではないと判断**しています。これまで行ってきたポートフォリオの調整により、**現状に十分対応できる体制が整っている**と考えており、現時点で**大きなポートフォリオ変更は行っていません**。今後も、個別銘柄・業種・マクロ経済の観点から継続的に分析を行い、必要に応じて適切に対応してまいります。

防衛関連組入銘柄のご紹介(2026年2月末時点)

ロッキード・マーチン

予想配当利回り※：2.2%

株価(配当込み)と一株当たり配当の推移



ノースロップ・グラマン

予想配当利回り※：1.3%

株価(配当込み)と一株当たり配当の推移



(出所)ブルームバーグ、ファクトセット

(期間)株価：2013年1月1日～2026年3月12日(日次)、配当：2013年～2027年(年次) 2026年以降の配当は3月6日時点のファクトセット予測値 株価は2013年1月1日を100として指数化 ※予想配当利回りはクリアブリッジ・インベストメンツ・エルエルシーが算出しております(税引前)。したがって今後変動する場合があります。

上記の個別銘柄の事例は市場の理解を深めるためのものであり、特定の銘柄の売買推奨等を行うものではありません。

AI分野の成長懸念に対する現時点での見解について

◆市場は引き続きAI分野に注目しているが、銘柄の見極めが重要に

AI関連銘柄は引き続き注目されていますが、ここ数カ月は値動きが大きい状況が続いています。市場ではテクノロジーセクターへの一極集中の動きが見直されつつあり、**テクノロジー株の株価水準については、これまで以上に慎重な見方が強まっています。**

AIは長期的には大きな成長機会をもたらすと考えていますが、**その影響が「どの業界に」「いつ」「どの程度」及び「どの銘柄」は個別に判断する必要があります。**短期的には収益性や設備投資負担への懸念も意識されています。特に大規模なクラウド事業者(ハイパースケーラー)による巨額の設備投資は、企業が自由に使うことのできる余剰資金(フリーキャッシュフロー)や配当・自社株買いなどの株主還元余力に影響する可能性があり、**市場では収益性をより重視する局面に移行しています。**



◆当ファンドは「AI普及による構造的な変化から恩恵を受ける銘柄」に着目

こうした環境下で当ファンドが重視しているのは、「AIそのもの」への投資に偏ることではなく、**AIの普及によって起きる構造的な変化から、持続的に恩恵を受けると考えられる銘柄に幅広く着目すること**です。具体例として2社をご紹介します。

アンフェノール

高耐久コネクタやセンサーを提供し、データセンター向けの需要拡大の恩恵を受ける。AIインフラの拡大に不可欠な部品を手がける、いわば「AIの基盤」を支える企業であり、どの企業がAI分野をリードしたとしても、広く恩恵を受ける可能性がある点を評価。

エマソン・エレクトリック

データセンターや発電設備向けの制御システムや自動化機器を提供。AIの普及に伴う電力需要の増加や設備の高度化による恩恵が期待される。加えて、景気回復局面では、企業の設備投資拡大がプラスに働くことも想定され、長期的な成長テーマと景気回復の双方から恩恵が見込める点を評価。

AI関連組入銘柄のご紹介(2026年2月末時点)

アンフェノール

予想配当利回り※：0.7%

株価(配当込み)と一株当たり配当の推移



(出所)ブルームバーグ、ファクトセット

(期間)株価：2013年1月1日～2026年3月12日(日次)、配当：2013年～2027年(年次) アンフェノールの2026年以降の配当およびエマソン・エレクトリックの2025年以降の配当は3月6日時点のファクトセット予測値 株価は2013年1月1日を100として指数化 ※予想配当利回りはクリアブリッジ・インベストメンツ・エルエルシーが算出しております(税引前)。したがって今後変動する場合があります。

上記の個別銘柄の事例は市場の理解を深めるためのものであり、特定の銘柄の売買推奨等を行うものではありません。

エマソン・エレクトリック

予想配当利回り※：1.5%

株価(配当込み)と一株当たり配当の推移



現在注目している投資テーマ

◆投資テーマの共通軸は「クオリティ」と「リアルアセット」

現在、当ファンドが注目しているテーマはいくつかありますが、共通する軸は「クオリティ(質の高さ)」と「リアルアセット(実物資産)」です。先行き不透明な局面では、本源的価値に裏付けられた質の高い実物資産が、ポートフォリオの安定と持続的な成長の両立に寄与しやすいと考えています。具体的には、次の点を重視しています。



➤ 本源的価値に裏付けられた有形資産

実体経済に根差し、持続的にキャッシュを生む資産であること。

➤ 高いクオリティ特性

強固な財務基盤、競争優位性、価格決定力などを有し、不確実性の高い環境下でも安定的なパフォーマンスが期待できる資産であること。

➤ インフレ耐性

物価上昇局面でも、収益や資産価値の維持・向上が見込める構造を持つ資産であること。

◆上記を踏まえた注目テーマ：エネルギー輸送インフラ

これらを踏まえ、注目しているテーマの一つが「エネルギー輸送インフラ」分野です。米国のエネルギー生産拡大に伴い、輸送・貯蔵のボリュームの増加が見込まれ、エネルギー輸送企業にとっては追い風となる状況が続くと見えています。要因としては、以下が挙げられます。

➤ AIデータセンター拡大による電力需要の増加

➤ 地政学リスクを受けた米国産LNG需要の拡大

➤ 米国経済成長に伴う電力需要の増加

当ファンドのポートフォリオでは、こうした見方を踏まえ、ウィリアムズやキンダー・モルガンなどのエネルギー輸送インフラ関連銘柄を主要な投資先の一つとして組み入れています。

エネルギー輸送インフラ関連組入銘柄のご紹介(2026年2月末時点)

ウィリアムズ

予想配当利回り※：2.7%

株価(配当込み)と一株当たり配当の推移



(出所)ブルームバーグ、ファクトセット

(期間)株価：2013年1月1日～2026年3月12日(日次)、配当：2013年～2027年(年次) 2026年以降の配当は3月6日時点のファクトセット予測値 株価は2013年1月1日を100として指数化 ※予想配当利回りはクリアブリッジ・インベストメンツ・エルエルシーが算出しております(税引前)。したがって今後変動する場合があります。

キンダー・モルガン

予想配当利回り※：3.5%

株価(配当込み)と一株当たり配当の推移



上記の個別銘柄の事例は市場の理解を深めるためのものであり、特定の銘柄の売買推奨等を行うものではありません。

今後、利下げ局面を迎えた場合の当ファンドの強みについて

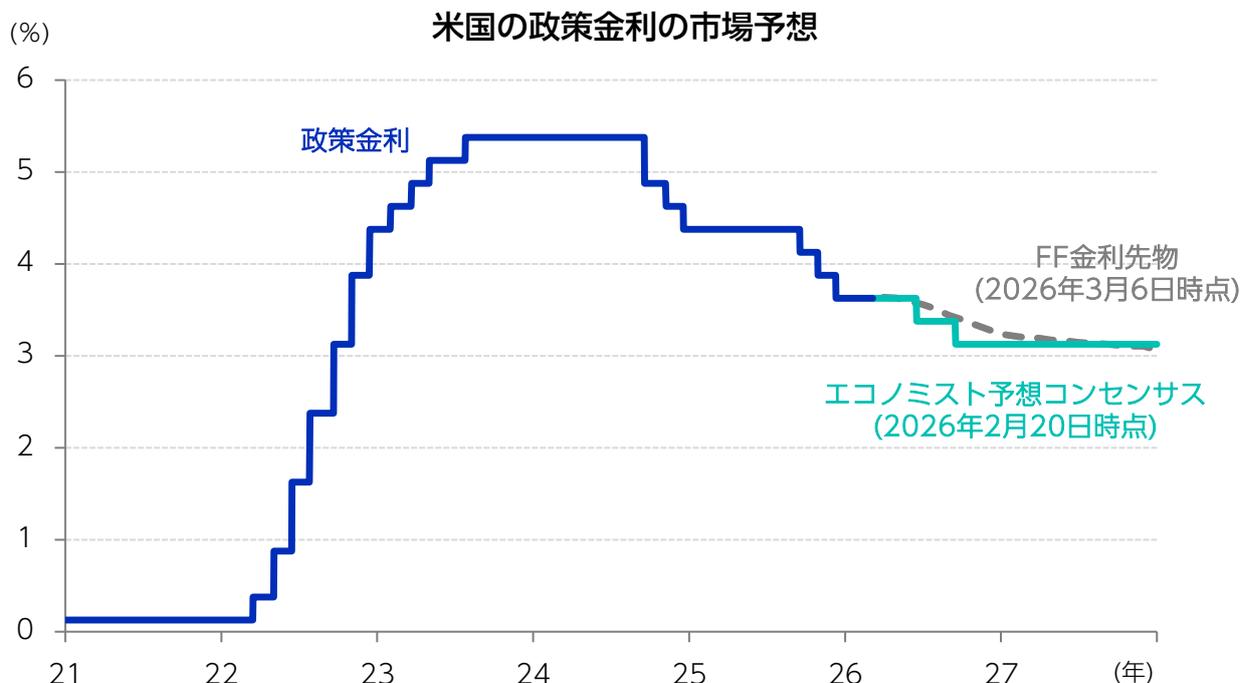
◆ 「守り」と「攻め」を両立、リスク・リターンの改善をめざす

利下げ局面では、企業の借入れにかかるコストが低下し、企業収益の下支えになる可能性があります。また、国債や社債の利回りが低下する局面では、**安定的に配当を受け取れる株式などの魅力が高まりやすく、インカム資産が再評価される可能性**があります。

当ファンドは、質の高い実物資産を持つ企業や、AIインフラ拡大の恩恵が期待される企業などに分散投資しています。これにより、次の3つの観点から、環境の変化に対応しやすい体制にあると考えています。

- インカム資産としての相対的魅力の向上
- 実物資産が持つ安定性とインフレ耐性
- AIインフラ拡大による中長期的な成長機会

世界の状況が変化する中でも、「守り」と「攻め」を両立させた運用を通じて、長期的なリスクとリターンの改善をめざしてまいります。



(出所)ブルームバーグ

(期間) 実績は2021年1月1日～2026年3月6日(日次)、FF金利先物は2026年3月から2027年12月までの各月末時点、エコノミスト予想コンセンサスは2026年3月から2027年12月までの各FOMC(米連邦公開市場委員会)の終了時点

政策金利：FFレート誘導目標(レンジ中央値)

「R&Iファンド大賞」は、5,600本を超える国内の公募投資信託のなかからR&Iの定量評価の枠組みを活用し、客観的な基準に基づいて「優れた運用実績を示したアクティブファンド」を表彰するアワードです。



「R&Iファンド大賞2025」投資信託部門／北米株式高配当カテゴリー

ニッセイアメリカ高配当株ファンド
(毎月決算型)／(年2回決算型)

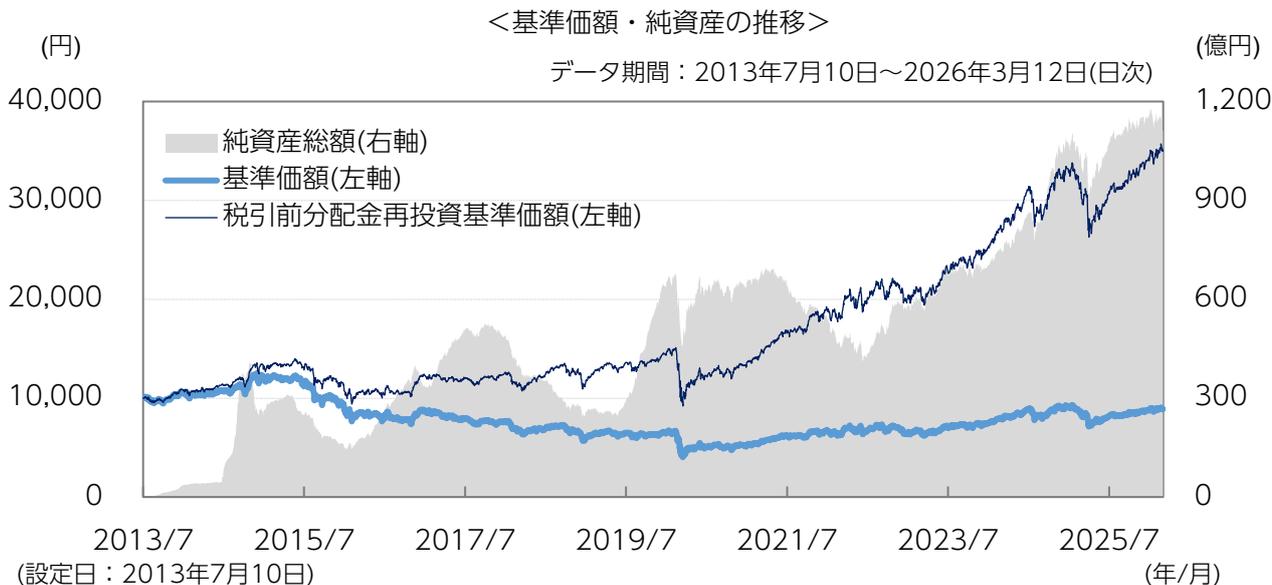
愛称：USドリーム(毎月)／(年2回)

3年連続 最優秀ファンド賞 受賞

※上記は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。詳しくはP8をご確認ください。

設定来の運用状況 (2026年3月12日時点)

毎月決算型



＜分配の推移(1万口当り、税引前)＞

第147期 (2025年9月)	第148期 (2025年10月)	第149期 (2025年11月)	第150期 (2025年12月)	第151期 (2026年1月)	第152期 (2026年3月)	設定来 累計額
50円	50円	50円	50円	50円	50円	10,390円

年2回決算型



＜分配の推移(1万口当り、税引前)＞

第20期 (2023年6月)	第21期 (2023年12月)	第22期 (2024年6月)	第23期 (2024年12月)	第24期 (2025年6月)	第25期 (2025年12月)	設定来 累計額
0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。基準価額は信託報酬扣除後、1万口当りの値です。税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。「ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)」は毎月28日決算です。28日が休業日の場合、翌営業日に支払われます。そのため、同月に2回分配が行われる場合があります。

ファンドの特色

- ① 米国株式等に実質的に投資することにより、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。
 - ② 米国株式等の実質的な運用はフランクリン・templton・グループのクリアブリッジ・インベストメンツ・エルエルシーが行います。
 - ③ 「毎月決算型」と「年2回決算型」があります。
 - ※ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
 - ※ 将来の分配金の支払いおよび水準について、保証するものではありません。
- 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

※ ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。	
MLP投資リスク	ファンドが実質的に投資するMLPは、主として天然資源に関連する事業に投資するため、MLPの価格は、当該事業を取巻く環境・市況の変化ならびに金利変動等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。MLPに関する法制度(税制等)の変更により収益性が低下する場合、MLPの価格が下落することおよび分配金が減少することがあります。	
不動産投資信託(リート)投資リスク	保有不動産に関するリスク	リートの価格は、リートが保有する不動産の価値および賃貸料収入の増減等、また不動産市況や景気動向等の影響を受け変動します。リートが保有する不動産の賃貸料や稼働率の低下、また自然災害等によって保有する不動産に損害等が生じた場合、リートの価格が下落することがあります。
	金利変動リスク	リートは、金利が上昇する場合、他の債券の利回り等との比較から売却され、価格が下落することがあります。また、金融機関等から借入れを行うリートは、金利上昇時には金利負担の増加により収益性が悪化し、リートの価格が下落することがあります。
	信用リスク	リートは一般の法人と同様に倒産のリスクがあり、リートの経営や財務状況が悪化した場合、リートの価格が下落することがあります。
	リートおよび不動産等の法制度に関するリスク	リートおよび不動産等に関する法制度(税制・建築規制等)の変更により不動産の価値および収益性が低下する場合、リートの価格が下落することおよび分配金が減少することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。	
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。	

・ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

● 当資料は、フランクリン・templton・ジャパンの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスク

※ ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

その他の留意点

- ファンドが実質的に投資するMLPにおける税制等に関しては、以下の事項にご留意ください。
 - ・ MLPの分配金の受取り時に米国における連邦税として、原則、分配金の21%を上限とした源泉徴収が行われます。その後、通常、年に1度、米国において税務申告を行うことにより、MLPへの投資を通じて得られる収益等に対する連邦税(所得税および支店利益税)の課税額が確定し、源泉徴収された額との調整が行われます。税務申告時に確定した連邦税の課税額が、分配金受取り時の源泉税額より小さくなった場合には源泉税の還付を申請し、源泉税額より大きくなった場合には追加納税を行います。また、連邦税のほかMLPが事業を行う州において州税の課税対象となります。
 - ・ MLPの売却時等に米国における連邦税として、売却代金等に対して10%の源泉徴収が行われます。上記の分配金に対する源泉徴収と同様に税務申告で確定した課税額との調整が行われます。
 - ・ 税務申告にともなう還付や納税に備え、原則として、引当額を計上する計理処理を行います。ただし、計上した引当額が、税務申告時に確定した税額と異なることがあります。
 - ・ 上記の税金の支払い、還付および計理処理により、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
 - ・ MLPに適用される法律または税制が変更された場合、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短時間で手当てする必要がある場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができないリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受け付けを中止する、また既に受け付けた換金の申込みの受け付けを取消しする可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性などがあります。
- ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料は、フランクリン・templton・ジャパン株式会社の情報をもとにニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なしに変更されることがあります。
- 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「R&Iファンド大賞2025」の評価基準日は2025年3月31日です。「投資信託部門」は過去3年間を選考期間とし、シャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウン、償還予定日までの期間、残高の規模等を加味したうえで選出しています。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

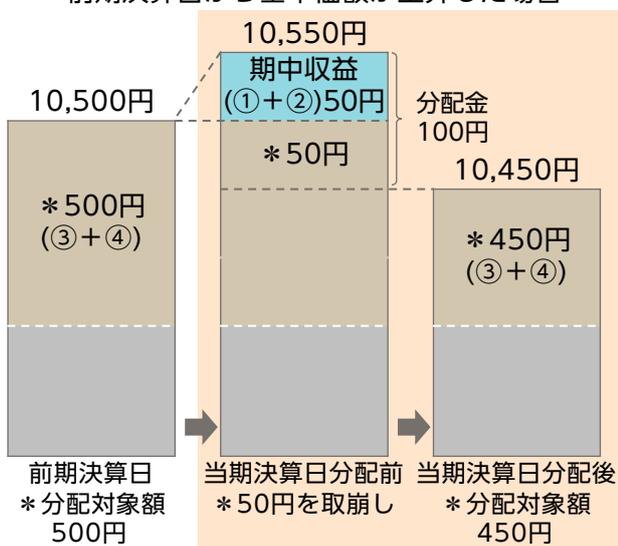
ファンドで分配金が支払われるイメージ



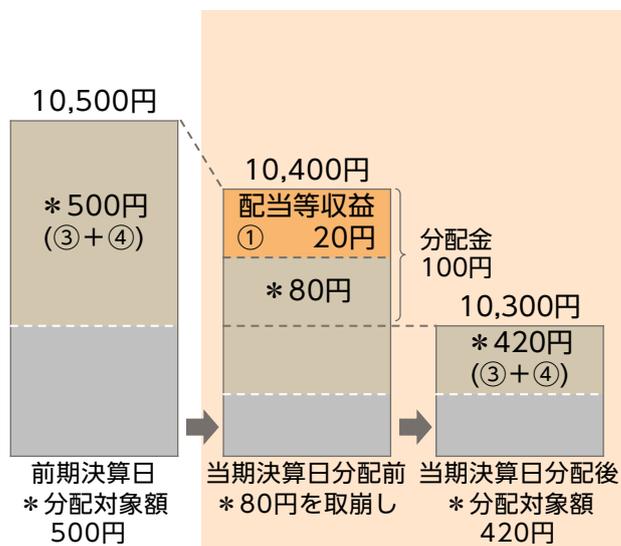
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



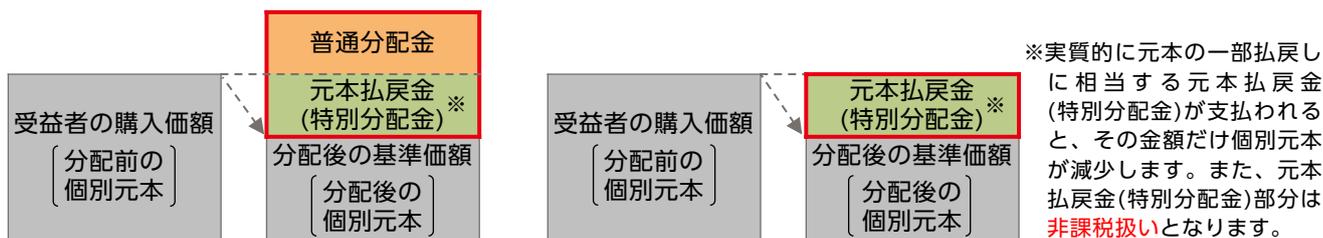
- 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 分配準備積立金：期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。
 収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

- 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● 当資料は、フランクリン・テンプレート・ジャパンの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用							
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ●料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。					
換金時	信託財産留保額	ありません。					
投資者が信託財産で間接的に負担する費用							
毎日	運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率1.276%(税抜1.16%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。					
		投資対象とする指定投資信託証券	<table border="1"> <tr> <td>フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)(適格機関投資家専用)</td> <td>年率0.638%(税抜0.58%)</td> </tr> <tr> <td>ニッセイマネーマーケットマザーファンド</td> <td>ありません。</td> </tr> </table>	フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)(適格機関投資家専用)	年率0.638%(税抜0.58%)	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	ありません。
		フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)(適格機関投資家専用)	年率0.638%(税抜0.58%)				
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	ありません。					
実質的な負担	ファンドの純資産総額に 年率1.914%(税抜1.74%) 程度をかけた額となります。						
監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。						
随時	その他の費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。また、ファンドが投資対象とするフランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)(適格機関投資家専用)において、実質的に投資する投資信託証券には運用報酬等の費用がかかりますが、銘柄等が固定されていないため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。					

❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

取扱販売会社一覧

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

取扱販売会社名	登録番号		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
	金融商品取引業者	登録金融機関				
あかつき証券株式会社	○	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
岩井コスモ証券株式会社	○	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	
株式会社SBI証券	○	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三証券株式会社	○	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
きらぼしライフデザイン証券株式会社	○	関東財務局長(金商)第3198号	○			
光世証券株式会社	○	近畿財務局長(金商)第14号	○			
KOYO証券株式会社	○	関東財務局長(金商)第1588号	○			
東海東京証券株式会社(※4)	○	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
内藤証券株式会社	○	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
ニュース証券株式会社	○	関東財務局長(金商)第138号	○	○		
松井証券株式会社	○	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	○	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	○	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○

(※1)「毎月決算型」のみのお取扱いとなります。(※2)「年2回決算型」のみのお取扱いとなります。
 (※3)インターネットのみのお取扱いとなります。(※4)一般社団法人日本STO協会にも加入しております。
 (※5)一般社団法人投資信託協会にも加入しております。

取扱販売会社一覧

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
moomoo証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
山和証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第190号	○			
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)		○	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)		○	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)		○	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社きらぼし銀行		○	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
株式会社きらぼし銀行(委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)		○	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
株式会社常陽銀行(※1)		○	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
株式会社仙台銀行		○	東北財務局長(登金)第16号	○			
株式会社富山第一銀行		○	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社百十四銀行		○	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社北陸銀行(※2,※3)		○	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社U1銀行(委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)(※3)		○	関東財務局長(登金)第673号	○			
ニッセイアセットマネジメント株式会社(※2,※5)	○		関東財務局長(金商)第369号		○		

(※1)「毎月決算型」のみのお取扱いとなります。(※2)「年2回決算型」のみのお取扱いとなります。
 (※3)インターネットのみのお取扱いとなります。(※4)一般社団法人日本STO協会にも加入しております。
 (※5)一般社団法人投資信託協会にも加入しております。

<当資料に使用している各指数について>

- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- S&P各種指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは同社が公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、また同社が公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ： https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	